

中央公民館 大栄分館新築工事 ニュース

VOL.
01
2026年6月

開館準備委員会より一言

「交流を育む未来につながる町の拠点」

町民の皆さん、こんにちは！新しく生まれ変わる「北栄町中央公民館 大栄分館」の建設工事が、いよいよ始まりました。「今、どんな風にできあがっているのかな？」という皆さんの声にお応えして、現在のリアルな進捗状況をギュッとまとめてお届けします！完成に向けて少しずつ形になっていくワクワクを、ぜひ一緒に見守ってください。



先月の進捗 5月はこれをやりました！

5月は、建物をしっかりと支えるための最も重要な「土台づくり」が力強く進められました！

主な作業は、巨大な重機を使った「杭(くい)打ち」と、基礎工事を行うための「掘削(くっさく)作業」です。建物の重さに耐えられるよう地中深くへと杭を打ち込み、その後、頑丈な基礎を築くために地面を深く掘り下げる作業(土工事)も行いました。

普段は見えなくなってしまう場所だからこそ、安全第一で丁寧に、一步一步確実な土台を作り上げています。



杭打ち作業の様子



掘削作業の様子

今月(6月)の予定 基礎のカタチが作られます

6月の主な作業は、建物の土台となる「基礎の鉄筋工事」と「型枠(かたわく)工事」です。5月に掘り下げた地面のなかに、頑丈な鉄筋を網の目のように細かく組み上げる鉄筋工事、そのまわりをコンクリートが流せるように木製の板などで囲う型枠工事を行っていきます。雨が多くなり足元が滑りやすくなる時期ですが、現場一同、これまで以上に「安全第一」で、品質管理を徹底して進めてまいります。少しずつ基礎の立体的なカタチが見えてくる6月の現場を、温かく見守ってください！

 **お知らせ:オープン**を皆で盛り上げましょう
地域の園児・小・中・高等学校の皆さんが工事の仮囲いにペイントをして街を楽しく彩ります！

 **お知らせ:施設の「愛称」を7月末まで募集中！**
こどもからお年寄りまで、みんなが気軽に集まれる新しい公民館にぴったりの愛称を募集中です！

現場の工夫

6月に入り雨が多くなる季節ですが、工事の品質を落とさないため、現場では雨や湿気に対するプロフェッショナルな管理を行っています！

ぬかるみ・排水の徹底管理：掘削した地面に雨水が溜まって土が緩まないよう、現場内に臨時の排水ポンプを設置。常に中に水が溜まらない工夫をしています。

足元の安全第一（スベリ防止）：雨で濡れた鉄板や足場は非常に滑りやすくなります。毎朝の朝礼で危険な場所を全員で共有し、滑り止めの設置や、一步一步の安全確認を徹底しています。

おしらせ & トピックス

・公民館の便利なところ

こどもからお年寄りまで、誰もがもっと気軽に、快適に集まれる「おもてなしの工夫」がいっぱいです！

- ①子育て応援設備：小さなお子様連れでも安心して来館できるよう、授乳室やオムツ替えスペースなどが新しく充実します。
- ②ユニバーサルデザイン：段差のないフラットなフロア設計はもちろん、多機能トイレや車いすでの利用を考えた動線など、やさしい最新バリアフリー機能が満載です。